

報道関係各位

農業を起点とした県内外の異業種交流会を開催

～農業×企業研修で生まれる、やまがたの魅力と新たな連携～

本県では、農業を起点として観光など多様な分野が連携し、農業における労働力不足の解消と関係人口の創出に向けた取組みを行っております。

このたび、農作業と社員研修を組み合わせた「アグリワーケーション」に参加いただいた企業をお招きし、下記のとおり異業種交流会を開催いたします。

本イベントは、参加企業が本県の地域資源や各企業の取組みに直接触れることで、今後の連携や協働の可能性を探るきっかけとなることを目指しております。

つきましては、当日の取材について、よろしくお願い致します。

記

1 開催内容

「農を起点とした県内外の異業種交流会」

- (1) 日時 令和7年10月24日(金) 午前10時～午後2時
(受付開始 午前9時45分)
- (2) 場所
 - ・第一部：東の杜 交流館
(住所：山形県東根市本丸東3-1)
 - ・第二部：竈煙 心月
(住所：山形県東根市さくらんぼ駅前2丁目13-7)
- (3) 内容 「アグリワーケーション」の参加企業（県外4社・県内5社）の交流会
 - ・第一部：参加企業の事例発表等（詳細は別添資料1参照）
 - ・第二部：参加企業の交流会

2 参 考

本事業は、山形県、全国農業協同組合連合会山形県本部（JA全農山形）及び株式会社JTBの三者連携協定の一環として実施するものです。

(別添資料2参照)



いもづに、かじつ。
150th
YAMAGATA PRIDES



【問い合わせ先】

○ 事業の全体概要について 山形県農林水産部農業経営・所得向上推進課 課長補佐（農業経営担当）武田 公智 TEL：023-630-2286 広報監 農林水産部次長 小泉 篤	○ 各事業・イベント等の詳細について JA全農山形 営農企画部 営農支援課 佐藤 大輔 TEL：023-634-8134 株式会社JTB 広報室 TEL：03-5796-5833
---	--

参加費
無料農を起点とした県内外の
異業種交流会2025年
10月24日 金

10:00~14:00

(受付開始 9:45~)

第一部 東の杜(交流館) 山形県東根市本丸東3-1

第二部 竈煙 心月 山形県東根市さくらんぼ駅前2-13-7

山形県では2023年度より、JA全農山形とJTBB と連携し「元気な農業人材確保プロジェクト事業」を実施しております。多様な人材を山形県に呼び込み、農作業受委託の仕組みを活用し農業や地域につなぐモデル事業を展開します。また、農業を起点として、観光・産業等が連携したオール山形の体制で農業労働力不足を解消するとともに、関係人口の創出・拡大による地方創生を目指します。今回、「アグリワーケーション(ラ・フランスの出荷調整作業×社員研修)」に参加いただいた企業の代表者を異業種交流会にお招きし、県内企業との異業種交流会を実施することにより、山形の企業や魅力を知っていただき新たなビジネスチャンスへの発展や産業活性化を目指します。

※写真はすべてイメージです。

第一部 / 発表

- 10:00 開会・開会のあいさつ
- 10:10 東日本旅客鉄道株式会社
～山形県における日本航空株式会社
との共創事業について～
- 10:30 NTT東日本株式会社
～NTT東日本グループの
農業に関する取り組み～
- 10:50 休憩・名刺交換
- 11:10 デロイト・マツコンサルティング 合同会社
～企業が農業に貢献出来ること～
- 11:30 総評・今後の展望
- 11:45 第一部 閉会



第一会場 東の杜 交流館(外観/ホール)



第二会場 竈煙 心月 (外観/会場)



会場移動(各自/車10分)

※ 送迎車に乗り希望の方はご連絡ください



参加企業(予定)

※順不同

東日本旅客鉄道株式会社・日本航空株式会社・
株式会社ファイネット・
デロイト・マツコンサルティング合同会社・
株式会社山形銀行・株式会社モンテディオ山形・
NTT東日本株式会社・株式会社チェリーランドさがえ
株式会社ヒト・コミュニケーションズ

※プログラム内容は変更になる場合もございます。

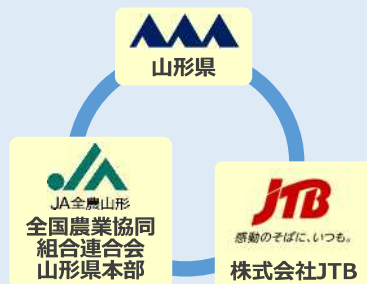
第二部 / 交流会

- 12:15 開会・乾杯のあいさつ
- 12:30 フリー歓談
- 13:00 参加企業紹介
- 14:00 第二部 閉会

- 本県では、令和5年度から、農業労働力不足の解消と、農を起点とした交流人口の拡大等を目的とした「元気な農業人材確保プロジェクト」の展開を予定しており、山形県、JA全農山形及びJTBの相互連携と協働による三者協定を締結し、プロジェクトの推進体制を強化する。

連携協定の概要

三者連携協定の枠組み



- 締結日
令和5年3月22日（水）
- 協定期間
令和9年3月31日まで
（延長の可能性あり）

○ 協定の趣旨・目的

農業人材の確保をはじめとする本県農業の課題の解決 及び 農を起点とした関係人口の創出のための連携強化を図るもの。

○ 主な協定項目

- ・首都圏等からの農業に関心のある企業、人材の**本県への呼び込み**
- ・農作業委託のニーズ把握と多様な人材との農作業受委託の調整
- ・首都圏の人材等と**県内の農業・他産業との交流促進**
- ・県産農産物等の地域資源やイベント情報の広報誌、SNS等による周知
- ・農作業体験や農業者等と交流する旅行商品造成

など

農を起点として人材を呼び込む新たなツール

アグリワーケーション

企業・社員 ～ 社員のワーケーションの合間に農作業に従事 ～



ニーズ

- ・CSR,SDGs,健康経営等で地方と連携
- ・社員教育による人材育成
- ・異業種交流でのビジネスチャンス開拓
- ・自由で多様な働き方の実現

メリット

- 農業を通じた地域貢献によるCSRの実現
- 現場感覚や新たな視点を持つ人材の育成
- 従業員の心身のリフレッシュ、生産性の向上、健康経営の実現

アグリキャンプ

部活・企業のスポーツチーム ～ 合宿のついでに農作業に従事 ～



ニーズ

- ・合宿を通じたチームビルディング
- ・合宿費用、活動費の確保
- ・合宿先でしかできない経験

メリット

- 空き時間の農業従事事で活動費の獲得
- 農作業体験を通じたチームワーク醸成

アグリツアー

観光客 ～ 旅行メニューとして農作業を体験 ～



ニーズ

- ・山形の魅力を感じられる旅行
- ・農業、農村暮らし体験への憧れ
- ・より充実した旅行、満足感

メリット

- 旅行+ついでに農業従事事で賃金を獲得
- 旅先でしか得られない体験や交流

協定締結による具体的な取組み

農作業受委託モデルの構築



交流機会の提供

県内外の異業種交流機会の提供

- ・農や食、SDGs等をテーマにした県内企業との交流会の開催
- ・「スタートアップステーション・ジョージ山形」を活用した異業種交流の創出や、コワーキングスペースの提供

やまがた暮らし・農村暮らし体験

農作業体験＋農村や地域の魅力を体感できる交流イベントの開催

主な役割

- JA全農山形**
- ・県内農家の作業委託ニーズ取りまとめ
 - ・農家との作業内容調整

- JTB**
- ・首都圏等から多様な働き手を呼び込み
 - ・労働者を雇用、作業チームを編成し農作業を受託

- 山形県**
- ・プロジェクトの推進、調整
 - ・多様な人材と他産業等との交流の場の提供

目標

○ 農作業受委託の参加延べ人数

（R4実績）2,141人日→（R5実績）3,015人日→（R6実績）4,208人日→（R7）7,000人日→（R8）10,000人日

期待される効果

- 多様な人材の活用による、**自走できる農作業受委託モデルの実証・構築**

- 農を起点とした **関係人口の増加**

関係人口の増加により

- 企業の農業分野への新規参入
- 若者などの新規就農の増加

波及効果

- ・異業種交流による企業活動の活性化、ビジネスチャンス創出
- ・関係人口やリピーター観光客の増加による山形ファンの形成
- ・交流人口の拡大による農村集落の活性化